

バイオマス産業都市推進協議会 2022年度事業報告 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

本協議会は、農林水産省補助事業の支援を得て、2014年7月23日にバイオマス産業都市選定地域で構成される「バイオマス産業都市連絡協議会」として発足し、バイオマス産業都市構想の実現に資するため、構想実現に向けた課題及び対応策の情報共有を行うとともに、バイオマス産業都市として選定された地域間のネットワーク化を目的として活動しています。

本協議会の会員数は、2023年3月31日時点で183会員（正会員97、賛助会員64、オブザーバー（学識者を含む）22）となり、2022年4月1日時点に比べ8増1減となりました。今後も引き続き会員の獲得に向けた活動を行う予定です。

本協議会の運営においては、①会員との情報の共有と連携 ②理事会での協議内容の反映 ③バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会では、資源エネルギー庁主催の再生可能エネルギー関連委員会等での要望内容等の検討、バイオマス関係7府省への政策提言の原案作成情報収集や協議を行いました。

2022年度の主な活動としては、総会1回（6月）、理事会4回（6月（2回）、9月、2月）、部会（2月）、バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会（10月、12月、2月）を行いました。

バイオマス関係7府省からの情報提供とシンポジウムは、例年通り2月に開催しました。また、勉強会（7月）、有識者及びバイオマス関係府庁との意見交換会（12月）、新規バイオマス産業都市選定地域との情報交換会（2月）、国際バイオマス展等へのブース出展（8月、11月、3月）を行いました。さらに、3年ぶりに、京都市と南丹市において先進事例視察会（10月）を開催しました。

1. 会員の状況

2022年度における会員の増減は次の通りです。

会員区分	2022年4月1日	2023年3月31日	増減
正会員	94	97	3増
賛助会員	62	64	3増1減
オブザーバー	20	22	2増
合計	176	183	8増1減

2. 会務の運営

（1）総会（1回開催）

1）第5回総会（文書審議）

審議期間：2022年6月16日（水）～7月21日（火）

審議内容：

第1号議案 バイオマス産業都市推進協議会2021年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 バイオマス産業都市推進協議会役員の選任について

文書審議結果：

正会員数 93 会員（バイオマス産業都市選定地域 93 自治体）

文書審議提出 93 会員（バイオマス産業都市選定地域 93 自治体）

議案賛否

① 第1号議案：バイオマス産業都市推進協議会 2021年度事業報告及び収支決算等
について 賛成93、反対0

② 第2号議案：バイオマス産業都市推進協議会 役員の選任について 賛成93、反対0
上記の通り、全ての議案について、全員の賛成をもって可決。

（2）理事会（4回開催）

1）第10回理事会

開催日時：2022年6月3日（金）15時00分～17時00分

開催場所：馬事畜産会館 第1会議室（東京都中央区新川2-6-16）

Zoomによるオンライン会議も併用

議事内容：第5回総会の議案についての検討及び事業を円滑に進めるための審議

出席者：理事7名（本人出席4名 代理人1名 委任状2名）

議事次第：

- ① バイオマス産業都市推進協議会 2021年度事業報告及び収支決算について
- ② バイオマス産業都市推進協議会 規約の改正について
- ③ バイオマス産業都市推進協議会 情報公開要領について
- ④ バイオマス産業都市推進協議会 役員の選任について
- ⑤ バイオマス産業都市推進協議会 第5回総会の開催について
- ⑥ バイオマス産業都市推進協議会 先進事例視察及び第2回勉強会について



第10回理事会

2）第11回理事会（文書審議）

審議期間：2022年6月7日（火）～6月17日（金）

審議内容：

- ① 第1号議案 バイオマス産業都市推進協議会 規約（改正案）について
- ② 第2号議案 バイオマス産業都市推進協議会 事業振興積立金規程（案）について

3) 第12回理事会

開催日時：2022年9月22日（木）13時30分～15時30分

開催場所：馬事畜産会館 第3会議室（東京都中央区新川2-6-16）

Zoomによるオンライン会議も併用

出席者：理事7名（本人出席5名 代理人1名 委任状1名）

議事次第：

- ① バイオマス産業都市推進協議会 2022年度事業中間報告について
- ② 事業振興積立金について
- ③ 今後のスケジュールについて
- ④ 先進事例視察について
- ⑤ バイオマス関係省庁との意見交換について
- ⑥ バイオマス関係7府省からの情報提供、部会について
- ⑦ バイオマス産業都市推進シンポジウムについて
- ⑧ 2023年度バイオマス関連予算概算要求について



第12回理事会の様子

4) 第13回理事会

開催日時：2023年2月2日（木）10時30分～12時00分

開催場所：日比谷図書文化館4階セミナールームA（東京都千代田区日比谷公園1-4）

Zoomによるオンライン会議も併用

出席者：理事7名中7名出席（本人出席5、代理人1名、委任1名）

議事次第：

- ① バイオマス産業都市推進協議会 2022年度中間報告と今後の予定について
- ② 2023年度事業計画及び収支予算（案）について
- ③ 2022年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書（案）について

(3) 監査（文書審議）

監査期間：2022年6月6日（月）～6月9日（木）

監査方法：文書審議による監査

監査内容：2021年度の事業報告及び収支決算についての監査

3. 事業活動

(1) 部会（5回開催）

1) バイオガス部会第8回運営幹事会

開催日時：2022年10月12日（火）15時30分～17時30分

開催会場：スペースまる八 AB 会議室（東京都中央区日本橋茅場町1-12-2）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：バイオガス部会運営幹事会 幹事の増員等について

バイオガス発電における直近の議論内容について

2023年2月の部会に向けた提言骨子に関する意見交換

出席者：20名（会場参加11名 Web 参加7名（代理人1名を含む） 委任2名）



バイオガス部会第8回運営幹事会の様子

2) バイオガス部会第9回運営幹事会

開催日時：2022年12月9日（金）15時30分～17時30分

開催会場：馬事畜産会館2階第1会議室（東京都中央区新川2丁目6-16）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：秋元圭吾先生、農林水産省及び環境省との意見交換会の報告

出力制御機器の技術仕様について

2022年度バイオマス産業都市推進協議会 提言書案について

出席者：21名（会場参加9名 Web 参加10名（代理人2名を含む） 委任2名）



バイオガス部会第9回運営幹事会の様子

3) 木質バイオマス部会第7回運営幹事会

開催日時：2022年10月19日（水）14時30分～16時30分

開催場所：馬事畜産会館2階第3会議室（東京都中央区新川2-6-16）

Zoomによるオンライン会議も併用

議事内容：木質バイオマス部会運営幹事会 幹事の増員等について

株式会社エフオンからFIT期間満了後の対応について情報提供

2023年2月の部会に向けた提言骨子に関する意見交換

出席者：21名（会場参加12名 Web参加6名 委任3名）



木質バイオマス部会第7回運営幹事会の様子

4) 木質バイオマス部会第8回運営幹事会

開催日時：2023年12月13日（火）15時30分～17時30分

開催場所：日比谷図書文化館 4階 セミナールーム（会議室）B

（東京都千代田区日比谷公園1-4）

Zoomによるオンライン会議も併用

議事内容：秋元圭吾先生、農林水産省及び環境省との意見交換会の報告

2022年度バイオマス産業都市推進協議会 提言書案について

出席者：18名（会場参加11名 Web参加5名 委任2名）



木質バイオマス部会第8回運営幹事会の様子

5) 第10回バイオガス部会

開催日時：2023年2月2日（木）14時00分～16時00分

開催場所：日比谷図書文化館4階小ホール（東京都千代田区日比谷公園1-4）

オンライン会議も併用

座長：喜井 知己 氏（バイオマス産業都市推進協議会 理事 北海道鹿追町長）

議事内容：2022年度の提言書内容の検討



第10回バイオガス部会の様子

6) 第9回木質バイオマス部会

開催日時：2023年2月2日（木）16時30分～18時30分

開催場所：日比谷図書文化館4階小ホール（東京都千代田区日比谷公園1-4）

オンライン会議も併用

座長：黒澤 八郎 氏（バイオマス産業都市推進協議会 理事 群馬県上野村長）

議事内容：2022年度の提言書内容の検討



第9回木質バイオマス部会の様子

(2) バイオマス関係7府省からの情報提供

開催日時：2023年2月3日（金）10時30分～12時45分

開催場所：日比谷図書文化館地下大ホール（東京都千代田区日比谷公園1-4）及び

Zoomによるオンライン配信

情報提供：

1. 会長挨拶(10時30分～10時35分)

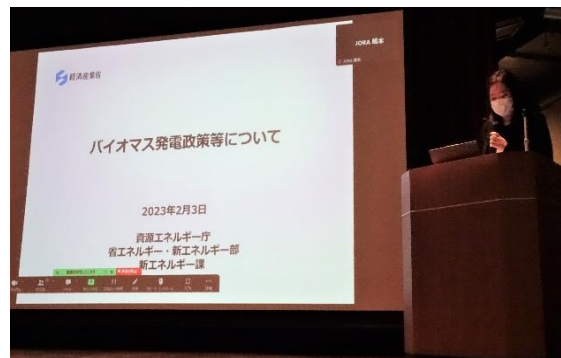
バイオマス産業都市推進協議会 会長（北海道興部町 町長） 裕 一寿 氏

2. バイオマス関係7府省からの情報提供(10時35分～12時20分；各15分)

- ・内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官（バイオ） 宇井 伸一 氏
- ・総務省 地域力創造グループ 地域政策課 企画第二係長 渡部 隆司 氏
- ・文部科学省 研究開発局 環境・エネルギー課 課長補佐 吉元 拓郎 氏
- ・農林水産省 大臣官房 環境・バイオマス政策課 再生可能エネルギー室 室長 西尾 利哉 氏
- ・経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 課長補佐 菊野 泉 氏
- ・国土交通省 水管理・国土保全局 下水道企画課 資源利用係長 藤岡 勝之 氏
- ・環境省 地球環境局地球温暖化対策課 課長補佐 北井上 礼樹 氏



農林水産省 西尾室長



経済産業省 菊野課長補佐

(3) バイオマス産業都市推進シンポジウム

開催日時：2023年2月3日（金）14時00分～17時00分

開催場所：日比谷図書文化館地下大ホール（東京都千代田区日比谷公園1-4）及び

Zoomによるオンライン配信

プログラム：

開会挨拶 14時00分～14時05分

第1部 講演・事例報告 14時05分～15時45分

○基調講演 14時05分～15時05分

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ

グループリーダー・主席研究員 秋元 圭吾 氏

「カーボンニュートラル実現に向けてのバイオマスの貢献」

○事例報告 15時05分～15時45分

木質バイオマス部門 15時05分～15時25分 岡山県真庭市 市長 太田 昇 氏

バイオガス部門 15時25分～15時45分 愛知県半田市 市長 久世 孝宏 氏

株式会社ビオクラシックス半田 猪飼 幸輝 氏

(休憩 15時45分～15時55分)

第2部 パネルディスカッション「バイオマス事業の課題と今後の展望」

15時55分-16時55分

パネリスト：第1部ご登壇者、コーディネーター：バイオマス産業都市推進協議会 会長・北海道興部町 町長 碓 一寿 氏

閉会 17時00分



秋元圭吾先生



パネルディスカッション

(4) 新規バイオマス産業都市選定地域との意見交換会

開催日時：2023年2月6日（月）15時00分～16時00分

開催場所：農林水産省本館 第2特別会議室*

(東京都千代田区霞が関1-2-1)

*2022年度のバイオマス産業都市選定地域の認定証授与式に続き同じ会場で実施

議事内容：新規バイオマス産業都市の紹介

北海道浜中町、群馬県長野原町、滋賀県竜王町、広島県世羅町

バイオマス産業都市推進協議会の入会説明



認定授与式記念撮影



意見交換会の様子

(5) 2022 年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書の提出

2023 年 2 月 2 日の部会で議論された意見を集約し、バイオマス産業都市推進の構築に関する提言書を取りまとめました。提言書案は全協議会会員へ回覧し、意見の反映等について調整した後、2023 年 3 月 27 日に北海道興部町裕町長（会長）、岡山県真庭市太田市長（副会長）、北海道鹿追町喜井町長（理事・バイオマス部会長）、群馬県上野村黒澤村長（理事・木質バイオマス部会長）、北海道別海町曾根町長（理事）、栃木県さくら市花塚市長（監事）、北海道湧別町刈田町長、北海道鶴居村大石村長、岡山県西栗倉村青木村長の 9 名の首長により、バイオマス関係 7 府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）へ提言書を提出しました。

< 提言骨子 >

【バイオマス産業都市構築に関わる施策の継続と強化】（バイオマス関係 7 府省）

- 一、バイオマス産業都市に選定された市町村の数は 2023 年 1 月 12 日時点で 101 まで増加しましたが、本格的なバイオマス産業都市の構築に向けた施策を継続して頂きたい。選定後の事業実施に向けた委員会の運営や詳細な事業計画の策定及び設備導入のための設計等に資する FS 調査等の事業化支援、先行地域の取組の横展開、停滞気味の地域に対するハンズオン支援の強化、バイオマス産業都市に選定されていることによる価値の発揮を進めて頂きたい。
- 一、バイオマス産業都市におけるバイオマス活用の取組は、自治体の計画や地域の振興に大きく関わっており、外国産のバイオマス資源を輸入した大規模なバイオマス発電事業等とは大きく異なることに加え、燃料調達環境の観点から競合する事例も多く見受けられることを踏まえ、地域経済に広く裨益し、国内の農林業や地域資源の持続性の担保にも大きく寄与する地域共生型のバイオマス発電所については、その特性を評価し、海外資源によるバイオマス事業とは切り離した支援を行うようお願いしたい。

【FIT・FIP 関連】（経済産業省・環境省・農林水産省）

- 一、地域のバイオマス資源を活用したバイオマス発電が、エネルギーの地産地消を通じ、農山漁村の産業振興の創出、雇用促進等、地域の活性化や課題解決に多大に貢献することを踏まえ、引き続き、その特質に応じた制度運用を維持できるようにご配慮を頂きたい。
- 一、バイオマス発電事業等に関わる事業者に対する国、県の審査及び支援については事業経営の安定性・健全性を十分に考慮して頂きたい。また、メタン発酵バイオガス発電事業の FIT 申請における原料調達に関する添付書類として、食品廃棄物等の排出事業者からの覚書、契約書を必須とする項目については、施設稼働前の状況で、排出事業者と覚書や契約書を締結することが困難であることから、排出の意思があることを表す何らかの資料の提出とするなどの申請条件の緩和をお願いしたい。
- 一、出力制御のオンライン化については、バイオマス発電の特質を踏まえた対策を講じて頂くとともに、必要な技術仕様や設備導入の情報提示と導入のための資金支援をして頂きたい。また、出力制御機器以外でも必要な設備は資本費に含めて頂くような措置を講じて頂きたい。

- 一、今後、FIT 期間を終了する施設が徐々に増えてくる中、森林資源の持続的利用の担保と発電事業の持続性の両立の観点からは、燃料調達に係るコスト（熱配管の敷設コストも含む）の低減には限界があることを踏まえ、地域産の燃料材を主とした木質バイオマス発電所の持続性の確保のための対策についてご検討いただきたい。
- 一、併せて、長寿命化の観点から引き続き地域内の森林資源の利用継続に関するバイオマス事業の補助等の支援をお願いしたい。
- 一、FIT 期間の終了を見据えた既存設備の一部改修や大規模改修は多額の費用を要することや未利用材のコストの低減には、現在の林業の生産性を鑑みると限界があるため、未利用材を中心とした森林資源の利用推進・継続のための新たな支援措置をお願いしたい。
- 一、FIP の導入に伴うアグリゲーターの育成や、発電事業者とアグリゲーター、小売電気事業者との連携の推進に関する支援をお願いしたい。

【熱利用】（経済産業省・環境省・農林水産省・総務省）

- 一、バイオガスの直接利用や熱利用については有効性が認められているものの、現行では補助や支援が少ない。熱利用の推進が構築されれば、様々な熱産業が創出されることから、今後、FIT のような制度や設備補助の支援の他、バイオガスの直接利用に向けた普及促進の措置をお願いしたい。
- 一、バイオガスから精製したメタンガスの成分や熱量などに一定の規格と、それに対する原産地証明のような制度を設けていただき、再生可能ガス買取が普及するような支援をお願いしたい。また、ガス事業者のバイオガス受入条件の緩和につながる標準熱量引き下げの早期実現をお願いしたい。
- 一、バイオマスの熱電併給システムにおいては、発電部分のみが支援されているが、熱についても評価いただき支援をお願いしたい。
- 一、バイオマス産業都市におけるバイオマスの熱利用に関し、化石燃料の削減を目的とした温暖化対策としての意義を踏まえ、ハードへの支援に加え、バイオマス由来の熱を地域で使うための需給マッチングにも資する地域で活用できる情報を整備して頂きたい。

【脱炭素先行地域関連等】（環境省・経済産業省・農林水産省）

- 一、脱炭素先行地域に選出された自治体等が使える予算については、省庁の連携により、計画がスムーズに実施できるような措置を講じて頂きたい。
- 一、バイオマス産業都市による脱炭素先行地域や重点対策加速化事業への応募に当たっては、省庁の方針に基づき温暖化対策に資する構想や計画を提出して認定されているものは、何らかの加点措置を講じて頂きたい。
- 一、バイオマス産業都市におけるバイオマス事業の推進は CO₂ 削減に大きく貢献することから、カーボンプライシングにより得られた資金が地域に還元されるような仕組みの構築をお願いしたい。

【バイオマス関連の技術開発】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・文部科学省）

- 一、バイオマス活用のための設備・機器に関しては、海外製への依存が高く、国内の地域特性に順応した技術開発が進んでいないことから、国内メーカーにおけるメタン発酵装置、ガスエンジン、広葉樹に対応した伐採機、小型ボイラ、バイオ炭製造装置等の高効率化に関する技術開発、ならびに自治体と国内メーカーが協力して実証を行う仕組みについての支援をお願いしたい。
- 一、バイオ液肥の濃縮は輸送・散布のコストやCO₂排出の削減に貢献することから、濃縮技術の開発支援を加速化して頂きたい。
- 一、木質バイオマスガス化設備から生産されるバイオ炭は、国の2050年実質カーボンニュートラルの達成及び炭素貯留に大きく貢献することが期待されるため、バイオ炭の利活用の高度化に資する技術開発への支援と利用拡大の措置をお願いしたい。
- 一、地域レジリエンス強化や地域分散型のバイオマスエネルギー利用を推進する技術開発の支援をお願いしたい。
- 一、バイオガスからメタンガス、メタノールや水素等を製造・利用する技術開発や下水汚泥からの高効率なリン回収についての技術開発を促進する支援をお願いしたい。
- 一、ICT活用に関する技術開発や他の再生可能エネルギーとの連携を促進する技術開発の支援をお願いしたい。

【その他】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・総務省・内閣府）

- 一、地域のバイオマス資源として十分活用されていない、林地残材、公園や街路樹の剪定枝ダムや河川の支障木等について、バイオマス資源として利用できる仕組みの構築を行うとともに、活用に必要な重機等に対する支援をお願いしたい。
- 一、廃食用油は貴重な資源であり、有価で取引されている現状を踏まえ、未だ未利用となっている家庭系一般廃棄物の廃食用油を、自治体や国の主導で回収する仕組みづくりの支援をお願いしたい。また、廃食用油から製造されるバイオディーゼル燃料をはじめ、新技術の水素化分解油（HV0; Hydrotreated Vegetable Oil）や高品質な炭化水素系バイオ燃料（HiBD; High quality-Bio Diesel）等のバイオ燃料においても、利用の際には化石燃料と同様の軽油取引税が掛かることや、機械メーカー保証がないことが、バイオ燃料導入の阻害となっていることから、バイオディーゼル燃料をはじめバイオ燃料全体の利用拡大に向けた支援や補助をお願いしたい。
- 一、一般廃棄物処理施設における有機資源活用については、家庭系・事業系一廃ごみにおける有機資源の分別回収・利用を促進するような措置をお願いしたい。
- 一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地において、資源作物を栽培して燃料化につなげる取組は、食料競合の議論から切り離して頂きたい。また、広葉樹・早生樹及び資源作物の集約的な栽培やバイオマス資源としての利活用を推進する施策を講じるとともに、実践的な実証試験や取組への支援を頂きたい。併せて、今後これらの取組を進めようとする地域が、これまでの各地域における広葉樹・早生樹の活用の実践による収支構造等に係る知見にアクセスしやすくなるよう、分かりやすい形で取組例を取りまとめ、事例集の形で共有いただきたい。
- 一、昨今の化学肥料の価格高騰を背景にバイオ液肥が注目されているところであるが、バイオ液

肥のさらなる普及拡大に向けた支援をお願いしたい。

- 一、バイオ液肥は現行の肥料登録における区分では個別の項目がないことから、新たに「バイオ液肥」の項目を追加して頂きたい。また、下水汚泥由来のバイオマス为原料とする堆肥やバイオ液肥は現行では有機農産物に使用可能な資材として認められていないことから、安全性が担保された下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥及び乾燥汚泥が有機農業で使用可能となる措置をお願いしたい。
- 一、バイオ炭について、国内では J-クレジット制度による農地施用の炭素貯留が進んでいるが、欧州の事例等も参考に、農地以外への施用（街路樹、道路造成工事等）及びクレジット化を進めることで、炭素貯留の普及、拡大を進めて頂きたい。
- 一、下水処理場での食品残渣混合利用については所管している省庁が複数にまたがり、手続き等に時間を要することから、一本化された窓口及びガイドラインを整備して頂きたい。
- 一、バイオマス施設等に関しては、試運転後の実際の運用等について、メーカー等の技術者から現場の管理者への人材育成が必要不可欠であるため、施設が安定的に稼働するまでの約 2 年間の人材育成費用を支援頂きたい。
- 一、バイオマス活用による地域経済効果の定量化手法や具体的な算定事例の情報を蓄積することで、バイオマスエネルギーの優位性を発信するとともに、各種支援の評価ポイントとして地域経済効果を位置づけていただきたい。



経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課



環境省 大臣官房 地域脱炭素事業推進課
地球環境局 地球温暖化対策課

（６）勉強会

バイオマスに関する情報提供の一環として、2021 年度に引き続き本協議会会員限定の第 2 回勉強会を実施しました。

第 2 回勉強会

開催日時：2022 年 7 月 19 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分

開催方式：Zoom によるリモート勉強会

出席者：152 名

（自治体会員 59 名、企業・団体会員 41 名、オブザーバー 46 名、事務局 6 名）

プログラム

開会挨拶 13 時 30 分～13 時 35 分

バイオマス産業都市推進協議会 会長・北海道興部町 町長 裕 一寿 氏

脱炭素先行地域の紹介（各 20 分）

① 北海道鹿追町 13時35分～13時55分

「多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、環境価値の向上による地方創モデル「MIRAI COUNTRY」の提唱」について

北海道鹿追町企画課企画係 ICT・エネルギー担当係長 林 大介 氏

② 秋田県大潟村 13時55分～14時15分

「自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦！～第1章電気編～」について

秋田県大潟村生活環境課環境班（兼）生活班 主査 石川 猛 氏

③ 岡山県真庭市 14時15分～14時35分

「森とくらしで循環 ゼロカーボンシティ真庭」について

岡山県真庭市産業観光課産業政策統括監 石井 裕隆 氏

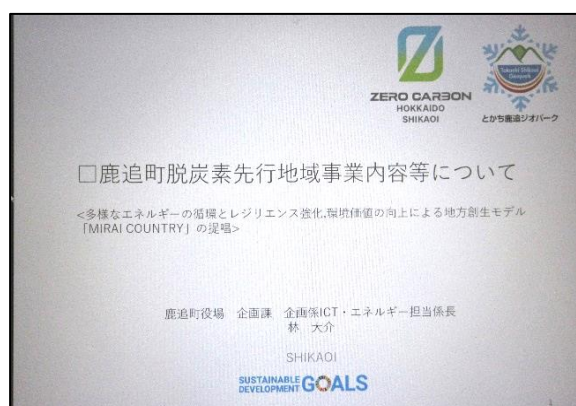
④ 岡山県西栗倉村 14時35分～14時55分

「2050 “生きるを楽しむ” むらまるごと脱炭素先行地域づくり事業」について

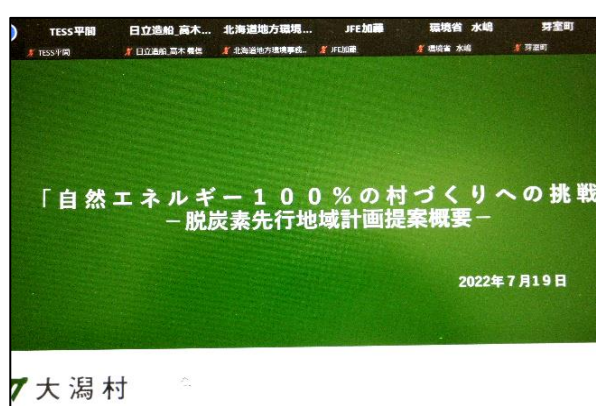
岡山県西栗倉村産業観光課課長補佐 白旗 佳三 氏

質疑応答 14時55分～15時25分

閉会



北海道鹿追町



秋田県大潟村



岡山県真庭市



岡山県西栗倉村

(7) 先進事例視察

開催日時：2022年10月3日（月）～4日（火）

視察場所：2022年10月3日（1日目）京都市

京都市南部クリーンセンター、環境学習施設「さすてな京都」、
京都市廃食用油燃料化施設

2022年10月4日（2日目）南丹市

京都府南丹市 八木バイオエコロジーセンター

参加者：50名（のべ人数）



京都市南部クリーンセンター



八木バイオエコロジーセンター

(8) 有識者及びバイオマス関係省庁との意見交換会

公益財団法人地球環境産業技術研究機構の秋元圭吾先生及び農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課、環境省大臣官房地域脱炭素事業推進課と意見交換会を行いました。

1) 秋元圭吾先生との意見交換会

開催日時：2022年12月5日（月）13時30分～15時00分

開催場所：田中田村町ビル貸会議室 5階会議室 東京都港区新橋2-12-15

プログラム：

- ・13時30分～13時33分

挨拶 裕一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）

- ・13時33分～14時00分

バイオマス産業都市選定地域の紹介（各自治体）

- ・14時00分～14時50分

自治体紹介についての質疑応答及びバイオマス利活用の推進に関する意見交換

- ・14時50分～15時00分

総括 秋元圭吾先生（公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ
グループリーダー・主席研究員）

出席者：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー・主席
研究員 秋元 圭吾 氏

首長 6 名

北海道興部町	町長	碓 一寿 氏	(会 長)
北海道下川町	町長	谷 一之 氏	(木質バイオマス部会 運営幹事)
岡山県西栗倉村	村長	青木 秀樹 氏	(木質バイオマス部会 運営幹事)
北海道湧別町	町長	刈田 智之 氏	
北海道鶴居村	村長	大石 正行 氏	
秋田県大潟村	村長	高橋 浩人 氏	

随行者 4 名 事務局 5 名

議事内容：バイオマス利活用の推進及びFIT に関する意見交換



秋元圭吾先生



意見交換会の様子

2) 農林水産省との意見交換会 会議次第

開催日時：2022年12月5日（月）15時30分～16時40分

開催場所：農林水産省 技術会議委員室

プログラム：

- ・ 15時30分～15時33分
挨拶 碓 一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）
- ・ 15時33分～15時55分
バイオマス産業都市選定地域における取組の紹介（各自治体）
- ・ 15時55分～16時40分
自治体紹介についての質疑応答及びバイオマス利活用の推進に関する意見交換

出席者（農林水産省）

農林水産省 大臣官房 審議官（技術・環境） 岩間 浩氏

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 再生可能エネルギー室長

西尾 和哉 氏

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 課長補佐（技術班担当）溝添 正一 氏

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 係員 寺内 直人 氏

林野庁 林政部 木材利用課 監査官 徳留 善幸 氏

林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス推進班 企画官 都築 高志 氏

首長 6 名

北海道興部町 町長 碓 一寿 氏 (会 長)
北海道下川町 町長 谷 一之 氏 (木質バイオマス部会 運営幹事)
岡山県西栗倉村 村長 青木 秀樹 氏 (木質バイオマス部会 運営幹事)
北海道湧別町 町長 刈田 智之 氏
北海道鶴居村 村長 大石 正行 氏
秋田県大潟村 村長 高橋 浩人 氏

随行者 4 名 事務局 5 名

議事内容：バイオマス利活用の推進に関する意見交換



農林水産省との意見交換会の様子

3) 環境省との意見交換会

開催日時：2022年12月5日（月）17時00分～18時00分

開催場所：環境省 第1会議室

プログラム：

- ・ 17時00分～17時03分
挨拶 碓 一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）
- ・ 17時03分～17時25分
バイオマス産業都市選定地域の紹介（各自治体）
- ・ 17時25分～18時00分
自治体紹介についての質疑応答及び脱炭素先行地域に関する意見交換

出席者

環境省	大臣官房地域脱炭素事業推進課長	犬丸 淳 氏
環境省	大臣官房地域脱炭素事業推進課 課長補佐	高橋 亮介 氏
環境省	大臣官房地域脱炭素事業推進課 課長補佐	水嶋 周一 氏
環境省	大臣官房地域脱炭素事業推進課 環境専門調査員	木村 桜子 氏

首長 6 名

北海道興部町 町長 碓 一寿 氏 (会 長)
北海道下川町 町長 谷 一之 氏 (木質バイオマス部会 運営幹事)
岡山県西栗倉村 村長 青木 秀樹 氏 (木質バイオマス部会 運営幹事)

北海道湧別町 町長 刈田 智之 氏
北海道鶴居村 村長 大石 正行 氏
秋田県大潟村 村長 高橋 浩人 氏
随行者 4 名 事務局 5 名

議事内容：バイオマス利活用の推進及び脱炭素先行地域に関する意見交換



環境省との意見交換会の様子

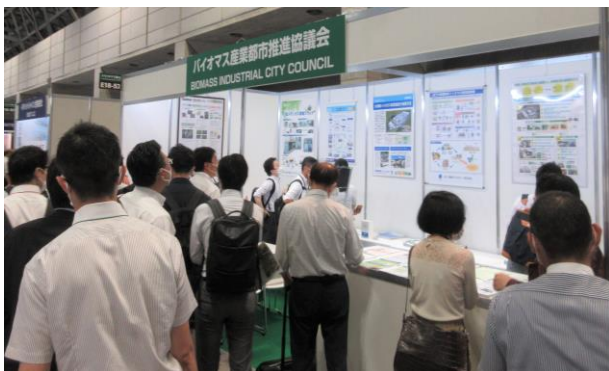
(9) 国際バイオマス展等へのブース出展

バイオマス産業都市推進協議会の賛助会員の取組を広報することを目的として RXJapan(株)が主催する国際バイオマス展及び関西バイオマス展にブース出展を行いました。

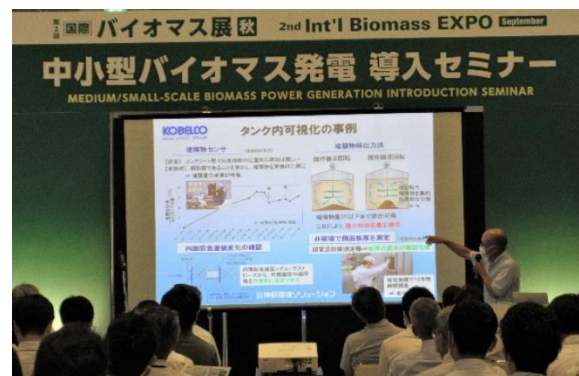
1) 国際バイオマス展 (秋展)

開催期間：2022年8月31日(水)～9月2日(金)

開催会場：幕張メッセ



ブース展示の様子 (幕張メッセ)



協議会会員のセミナー講演の様子 (幕張メッセ)

2) 関西バイオマス展

開催期間：2022年11月16日(水)～11月18日(金)

開催会場：インテックス大阪



ブース展示の様子（インテックス大阪）



協議会会員のセミナー講演の様子（インテックス大阪）

3) 国際バイオマス展（春展）

開催期間：2023年3月15日（水）～3月17日（金）

開催会場：東京ビッグサイト



ブース展示の様子（東京ビッグサイト）



協議会会員のセミナー講演の様子（東京ビッグサイト）

以上

バイオマス産業都市推進協議会 2022年度収支決算

(単位:円)

科目	予算額	決算額	説明
I. 事業活動収入			
1. 会費収入	4,500,000	3,720,000	正会員94 賛助会員64
会費収入(2022年度分)		3,700,000	
会費収入(2023年度分)		20,000	
2. 事業収入	0	676,215	
先進事例視察収入	300,000	606,640	視察参加費
その他事業収入		69,575	
3. 雑収入	0	68	
銀行利息	0	68	
事業活動収入計 (A)	4,800,000	4,396,283	
II. 事業活動支出			
1. 管理費支出	2,970,000	1,947,853	
会議費	600,000	46,854	会場代、飲料代等
通信運搬費	50,000	31,122	郵便及び宅急便代、振込手数料等
消耗品費	20,000	30,755	
印刷費(管理費)	500,000	39,122	資料印刷、用紙代
事務処理委託費	1,800,000	1,800,000	150,000円×12か月
その他	0	0	
2. 事業費支出	1,460,000	1,936,356	
部会活動費	500,000	128,052	部会会場代・飲料代、勉強会会場代・講師謝金
先進事例視察開催費	300,000	711,862	視察参加費
旅費交通費		259,443	シンポジウム講師等旅費
印刷費(事業費)	0	427,424	部会・運営幹事会・シンポジウム印刷代
シンポジウム開催費	600,000	125,244	会場代、講師謝金
ホームページ運営費	60,000	60,000	5,000円×12か月
その他	0	224,331	展示会出展レンタル代、ポスター代
3. 予備費	310,000	0	
事業活動支出計 (B)	4,740,000	3,884,209	
当期収支差額 (C=A-B)	60,000	512,074	
前期繰越収支差額 (D)	5,578,683	5,578,683	
事業振興積立金 (E)	3,001,000	3,001,000	新規口座開設初期入金金額立替含む
次期繰越収支差額 (F=C+D-E)	2,637,683	3,089,757	

貸 借 対 照 表 (案)

2023年3月31日

バイオマス産業都市推進協議会

資 産 の 部	
科 目	金 額
【流 動 資 産】	
(現 金・預 金)	
現 金	0
普 通 預 金	3,089,757
事業振興積立金	3,001,000
現金・預金 計	6,090,757
(売 上 債 権)	
未 収 金	0
売上債権 計	0
流動資産合計	6,090,757
資 産 合 計	6,090,757

負 債 の 部	
科 目	金 額
【流 動 負 債】	
未 払 金	0
流動負債 計	0
負債合計	0
正 味 財 産 の 部	
正 味 財 産	
前期繰越正味財産額	5,578,683
当期正味財産増減額	512,074
正味財産 計	6,090,757
正味財産合計	6,090,757
負債及び正味財産合計	6,090,757

監 査 報 告 書

バイオマス産業都市推進協議会
会 長 裕 一 寿 様

2023年5月15日
バイオマス産業都市推進協議会

監 事 范 塚 隆 志 

バイオマス産業都市推進協議会の2022年度（2022年4月1日から
2023年3月31日まで）における事業及び会計について、2022年度
事業報告書及び収支計算書に基づき監査した結果、事業の執行は適切であり、
会計処理は適正、かつ正確であることを認めます。

以上